第 182 回 誘電・絶縁材料技術委員会 議事録(案)

A. 日時：2006 年 5 月 22 日(月) 13:30～15:30

B. 場所：岐阜県土岐市・核融合科学研究所 セミナー室

C. 出席者(順不同，敬称略)：

委員長： 穂積(愛工大)

委　員： 伊藤(日本ガイシ)，中嶋(日立電線，杣委員代理)，高橋亨(ビスキャス)，東村(日立)，清水(東芝)，加藤(新潟大)，田中祀(早稲田大九州)，本間(電中研)

幹　事： 内田(中部電力)，田中康(武蔵工大)

幹事補： 岡下(昭和電線)，高橋俊(電中研)

以上計 13 名

D. 提出資料

番号なし	第 181 回 誘電・絶縁材料技術委員会 議事録(案)	幹事団
182-1	誘電・絶縁材料技術委員会 委員名簿	幹事団
182-2	基礎・材料・共通部門 運営委員会情報	穂積委員長
182-3	電気学会 屋外用ポリマー絶縁材料の表面機能と長期性能調査専門委員会第 1 回議事録(案)	本間委員
182-4	第 11 回 ナノ構造制御有機薄膜及び複合膜の機能化とデバイス応用調査専門委員会 議事録	加藤委員
182-5	高分子材料と放射線の相互作用評価技術調査専門委員会(仮)設置趣意書(案)	田中康幹事
182-6	調査専門委員会フォローシート(2006 年度計画)	幹事団
182-7	平成 18 年度 誘電・材料研究会，技術委員会，その他行事予定(2 次案)	幹事団
182-8	第 37 回 電気電子絶縁材料システムシンポジウム開催提案書	幹事団
182-9	第 37 回 電気電子絶縁材料システムシンポジウム開催案内および発表講演募集	幹事団

E.議事内容

1. 委員長挨拶

穂積委員長より委員長就任の挨拶があった。主な内容は以下の通り。

・豊橋技科大から愛工大に移籍した。これに伴い，年度当初はバタバタしており，技術委員会開催が遅くなった。お詫びする。

・新キーワードの導入を進めたい。

・行事その他の効率的運用を図り，整理・発展のメリハリをつけた運営を行いたい。

2. 連絡等

内田幹事より本日のスケジュール紹介，見学先候補募集のお知らせがあった。

3. 議事録の確認，承認

岡下幹事補より第 181 回誘電・絶縁材料技術委員会議事録(案)の報告があった。一部加筆修正の上，承認された。

4. 名簿確認

資料 182-1 が岡下幹事補から紹介され，各委員より修正箇所の申告があった。次回委員会に修正版を配布することとした。

5. A 部門運営委員会情報

資料 182-2 が穂積委員長より運営委員会の議事メモとして紹介された。主な議事，質疑は以下の通り。

・ISEIM および経済性評価委員会講演会の報告は穂積委員長経由で電気学会に提出することとした。

・正式な議事録は次回の技術委員会にて配布することとした。

6. 屋外用ポリマー・・・調査専門委員会 第 1 回議事録(案)

資料 182-3 が本間委員から説明があった。主な議事，質疑は以下の通り。

・ATH とは？

→水和アルミナ。撥水性は低下するが，劣化特性・放電発生時の耐エロージョン性）が向上する。

7. 第 11 回 ナノ構造制御・・・ 調査専門委員会 議事録

資料 182-4 が加藤委員から説明があった。主な議事，質疑は以下の通り。

・次回の電気学会全国大会ではシンポジウムを提案いただけるのか？

→委員会としては正式決定していないが, 委員長の私案としてはシンポジウムを提案したい。

8. 高分子材料と放射線・・・調査専門委員会(仮) 設置趣意書(案)

資料 182-5 が田中康幹事から説明があった。主な議事，質疑は以下の通り。

・指摘部分以外は特に議論はなかったか？

→なかった。

・「電気学会においては実施されていないようである。」表現を見直した方が良いのでは？

→表現を見直す。

以上の指摘を反映させることとし，委員会として承認した。

9. 調査専門委員会フォローシート

資料 182-6 に基づき，田中康幹事より説明があった。主な議事，質疑は以下の通り。

・委員会名称「高分子材料と放射線の相互作用評価」→「高分子材料と放射線の相互作用評価技術」

・「ナノコンポジット」名称欄の「(日韓？)」について田中祀委員，内田幹事から状況説

明があった。日韓合同セッションとして成立するか否か現状では不明。申込締切が 5 月末まで延長。要フォロー。

・「機器診断の経済性評価」5 月 17 日に委員会開催済，報告書の審議を実施。

・「ケーブル・電気機器のオンライン計測・・・」5 月に原稿は電気学会に提出済。カラーページの印刷に対する役員会の許可待ち。

・調査専門委員会の活動状況の技術委員会への報告状況は？電気学会に直接報告がなされているようだが，技術委員会として把握しておくべきでは？

→電気学会に提出する報告を委員会資料として技術委員会に提出していただくこととする。3 月の技術委員会の議事として，各調査専門委員会の年間活動報告の承認を行う。

10. 行事予定(2 次案)

資料 182-7 に基づき，田中康幹事より説明があった。主な議事，質疑は以下の通り。

・東京支部連合研究会(9 月 7 日～8 日)はキャンセル。

・秋田での研究会，担当委員を穂積委員長，田中康幹事に変更。早急に実施案，会告を作成する必要あり。日時，場所を決定するとともに，論文募集をかける。

・電気電子絶縁材料システムシンポジウム，担当委員を穂積委員長，内田幹事に変更。

・11 月の有機超薄膜の研究会，11 月 10 日に信州大学工学部にて開催予定。

・H19 年 1 月の ED 委，HV 委共催の研究会(九州地区で開催)，担当委員を高橋俊幹事補に変更。西川前幹事補に確認のこと。九大・林先生にアクセスしておく必要あり。

・H19 年 3 月の東京での研究会，「学際分野・国際会議紹介＆帯電」とすることとした。

・共催の場合は早めに電気学会に報告し，論文番号を適正に発行してもらうこと。

11. 第 37 回 電気電子絶縁材料システムシンポジウム 開催提案書，会告について

資料 187-8，187-9 に基づき，岡下幹事補から説明があった。主な議事，質疑は以下の通り。

・「開催案内および発表講演募集」を技術委員会委員宛にメールにて送付し，周知していただくこととした。

・会社等に籍のある表彰者について，旅費はご遠慮いただくこととし，予算案を修正することとした。

・会場借用費の要否は岡下幹事補にて確認いただくこととした。

・論文申し込みの締め切り時に申し込み状況を見てプログラム委員会を開催することとした。

12. ナノ分子エレクトロニクスに関する国際会議協賛のお願い(資料なし)

穂積委員長より紹介があった。岩本委員が組織委員長となっている掲題の国際会議について，技術委員会に協賛依頼があり，承諾することとした。

13. 表彰委員会からの報告(資料なし)

内田幹事(表彰委員長)より報告，依頼があった。主な議事，質疑は以下の通り。

・来年度の家田賞，矢作賞の被表彰候補者を推薦いただきたい。一度推薦があった場合，

3 カ年有効。家田賞は候補者あり。矢作賞は候補者ゼロ。内田幹事(表彰委員長)よりメールにて技術委員宛にお知らせをする。

・個人情報が含まれているので，取扱に注意すること。

14. 次々回のシンポジウム会場について(資料なし)

田中幹事より提議され，以下の議論があった。

・大学を利用したい。

・地方開催としたい。名古屋？　次回委員会に諮りたい。

・2008 年に ISEIM を開催の方向で。三重にて開催したい。

15. その他

・技術委員会のホームページのアップデート作業を進めている旨，幹事団より報告があった。

・技術委員会後に核融合科学研究所施設見学を行った。(多謝：核融合科学研究所関係各位)

F. 次回委員会

8 月 29 日(火) 13:30～　電気学会 第 3・4 会議室にて

以上